

日経平均はおよそ1ヵ月ぶりの高値

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

好決算の信越化学が連日で買われる

週明けとなった昨日の東京市場では、日経平均は前週末比+50円(+0.1%)の2万7433円となって、小幅高ながらもおよそ1ヵ月半ぶりの高値で終えた。業種別騰落率では化学(前週末比+1.1%)、繊維(同+0.6%)、空運(同+0.5%)が上昇率の上位、下落率が大きかったものには鉄鋼(同▼1.5%)、石油(同▼1.3%)、鉱業(同▼1.0%)があった。個別銘柄では、兼松がTOBを発表した兼松エレクトロニクスがストップ高となって株価は昨年来高値を更新、ヤマトHD(前週末比+6.4%)、福山通運(同+5.3%)などの陸運株や好決算を発表した信越化学(同+5.0%)が買われた。一方で、電通グループ(前週末比▼2.9%)が売られ、日立建機(同▼2.5%)、三菱自動車(同▼2.3%)などが安い。

直近で上昇銘柄が売られた

現地30日の米国市場では、FOMCを控えて直近で大きく上昇した銘柄を中心に利益確定の売りに押され、NYダウは前週末比▼260ドル(▼0.7%)の3万3717ドルと7営業日ぶりに下落、ナスダック総合も同▼227ポイント(▼1.9%)の1万1393ポイントと3営業日ぶりに下落した。個別銘柄では、テスラ(前週末比▼6.3%)、フォード(同▼2.8%)、J&J(同▼3.7%)が大きく下落、その他には最近上昇が目立ったエヌビディア(同▼5.9%)、AMD(同▼3.9%)、アプライドマテリアルズ(▼3.8%)といった半導体関連銘柄が売られ、SOX指数は(同▼2.6%)の下落であった。一方で、ゴールドマンサックス(前週末比+1.0%)、ベライゾン(同+1.0%)などが買われた。WTI原油先物は前週末比▼2.2%の77.90ドル、米10年債利回りは同+0.03%の3.54%で終えた。

今日の予定

現地30日のシカゴ日経平均先物は大証比+40円の2万7410円で終了、今朝のドル円は1ドル130.40円程度(7時20分現在)で推移している。今日は、国内では、12月の失業率・有効求人倍率、海外では、1月の米消費者信頼感指数の発表が予定されている。

東京市場マーケットデータ

2023/1/30 現在

日経平均	2万7433円
プライム売買代金	2兆7730億円
プライム時価総額	707兆1646億円
日経平均予想PER	12.9倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.2%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

昨年来高値	2万9388円	2022年01月05日
昨年来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

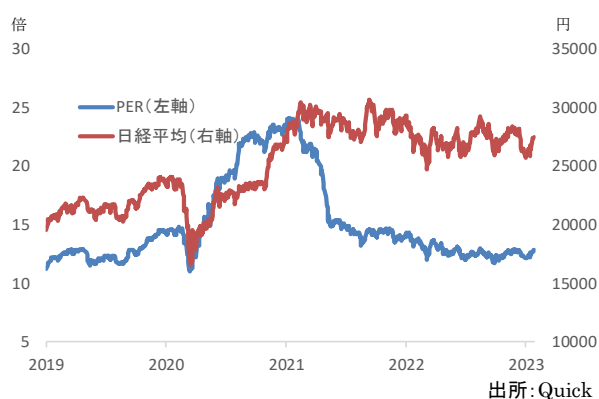
国内株式売買代金ランキング

2023/1/30 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	0.5%
2 三菱 UFJFG	0.2%
3 信越化学	5.0%
4 三井住友 FG	0.0%
5 日本製鉄	▼1.9%
6 ソフトバンクグループ	▼0.4%
7 東京エレクトロ	0.6%
8 ファーストリテイリング	0.2%
9 ファナック	3.5%
10 トヨタ	0.1%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa